

## 認知症作業療法 活動報告（概要）

福岡県作業療法士会では、保健福祉部内に認知症作業療法推進委員会を設置し、保健福祉部理事を含めて5名で活動をしている。主な活動は、「認知症アップデート研修」「実践的な内容」研修の開催を行い、会員に対する最新知識の普及活動を実施している。今後は、地域活動につながる作業療法士の育成と県士会内での横のつながりを強める活動を継続的に実施する。

## 会員向け研修 事業

### 認知症アップデート研修の開催

今年度は、令和元年5月19日実施し、83名参加。満足度は、「大変満足」「満足」を合わせると96%と好評を得る研修会となっている。過去3年間で、合計4回の開催となり、修了者は320名となった。

### 応用研修「地域における認知症作業療法(仮)」の開催

認知症アップデート研修のアンケート結果を受け、希望が多かった「地域での認知症に対する関わり」について、研修を開催予定としている。内容は、県庁職員による「認知症施策推進大綱と福岡県の認知症対策」に加え、先駆的に地域事業に取り組まれている作業療法士の方々に「認知症カフェ」「認知症に優しい図書館」について報告をいただく予定となっている。

この研修会を踏まえ、地域支援に関わる事業に関わる作業療法士の育成とそれらの取り組みを横断的につなげ、情報交換できる仕組みを作成していきたい。

## 市町村事業への協力体制構築 事業

各市町村での協力体制の構築を目指し、認知症関連の地域事業の状況把握を適宜、実施。また、行政から協力依頼があった際は、スムーズに人材派遣が行えるように、体制整備中。市町村事業における作業療法士が協力している一例を紹介する。

### 認知症・草の根ネットワーク(北九州)への協力

認知症・草の根ネットワークの活動は主に認知症カフェモデル事業の運営など。現在、2名の作業療法士が理事として活動をしている。

### 家族教室等での講師活動

北九州市が主催する家族教室などにおいて、講師として活動している。主に、作業療法士の視点をを用いて、残存能力を生かし、環境設定などを取り入れた生活の工夫を意識して伝達している。また、「認知症を学ぶ」ハンドブックの作成に協力した。

### Run伴+（プラス） 筑豊2018 への参加

「認知症であってもなくても安心して暮らせるまちづくりを応援します」を合言葉に、ご本人、ご家族、多職種と連携し啓発事業として活動した。



### 認知症街頭啓発事業への参加

北九州市が主催する認知症街頭啓発事業において、県士会員も協力者として参加している。市民・行政・多団体が参加し、一般市民に対し、認知症の啓発を行うとともに、交流の機会となっている。

など



## 今後の展開

- ・ 会員向け研修の開催（アップデート研修と地域事業参加者養成研修）
- ・ 市町村事業への協力体制の構築